

姫川・関川 総合水防演習

5月21日(土)、姫川河川敷で、消防団や自主防災組織、ボランティア団体など、94団体、総勢2,600人が参加し、総合水防演習が開催されました。

平成7年、姫川流域に甚大な被害をもたらした「7.11水害」の記憶を次世代に語り継ぐとともに、今後も起こりうる水害に備えるべく、住民の皆さんと関係機関が一体となった、充実した訓練となりました。



「開会宣言」高田河川国道事務所長



糸魚川小学校6年生、2名が「学びたいこと」を発表しました



上越市消防団ラッパ隊によるファンファーレ



流域地区からも大勢の方々が参加しました



土砂災害調査に出動するTEC-FORCE隊員



災害対策本部で指揮をとる米田市長



糸魚川、能生、青海のほか、上越、妙高からも多数の消防団員が参集。日頃の訓練の成果を発揮しました

演習コンセプト

- 消防団による姫川の特徴にあった実践的な水防工法の実施
- 関係機関が一体となったタイムラインに基づく実践的訓練
- 関東・東北豪雨を踏まえ洪水氾濫を想定した救難救助訓練
- 地域住民、地域企業等の参加による実践的訓練
- 7・11水害の記憶を次世代に引き継ぐための防災教育・水害記録の展示